

ワクチン接種を受ける人へのガイド

2020年10月作成

黄熱ワクチン1人用

【このワクチンの名前は？】

販売名	黄熱ワクチン1人用
一般名	黄熱ワクチン Yellow fever vaccine

ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報はPMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に掲載されています。
※副反応：ワクチンの副作用のこと

【このワクチンの効果は？】

- ・ このワクチンは、次の目的で接種されます。
黄熱の予防
- ・ このワクチンの接種10～14日後以降に黄熱ウイルスに対する抗体ができ、感染症にかかりにくくなります。

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
 - ・ 9か月未満の乳児
 - ・ 明らかに免疫機能に異常がある人、および免疫を抑える治療を受けている人
 - ・ 明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
 - ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
 - ・ 過去にこのワクチンに含まれている成分でアナフィラキシーをおこしたことがある人

- ・ 胸腺に関連した疾患（重症筋無力症、胸腺腫）にかかったことがある人、および胸腺摘除術を受けた人
- ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した人
- 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
 - ・ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の疾患や発育の障害などの基礎疾患がある人
 - ・ 他の予防接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
 - ・ 過去にけいれんをおこしたことがある人
 - ・ 過去に免疫不全と診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
 - ・ 高齢の人
 - ・ ゼラチンを含む薬または食品に対して、ショック、アナフィラキシー（じんま疹、呼吸困難、喉や口唇周囲のはれなど）などの過敏症をおこしたことがある人
 - ・ このワクチンに含まれている成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人
 - ・ 鶏由来のもの（鶏卵や鶏肉など）に対してアレルギーをおこすおそれがある人
 - ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人、授乳中の方は医師に相談してください。

- 次の薬を使用している人はこのワクチンを接種することはできません。

副腎皮質ステロイド剤	プレドニゾロンなど
免疫抑制剤	シクロスポリンなど
アルキル化剤	シクロフォスファミドなど
代謝拮抗剤	テガフルなど

- 放射線療法を受けている人はこのワクチンを接種することはできません。
- 併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
接種前6か月以内に輸血またはガンマグロブリン製剤の投与を受けた人は、このワクチンの接種時期について医師に相談してください。
- すでに生ワクチン（注射剤）*の接種を受けている場合は、27日以上間隔を空けてこのワクチンを接種できます。

*生ワクチン（注射剤）の詳細は巻末をご覧ください。

- このワクチンは特定の病原菌が存在しないことが確認された鶏卵や原材料を用いて製造されています。製造にあたっては、外来性のウイルスの混入を防止するための方策がとられており、この薬の使用により外来性ウイルスが伝播し

たとの報告はありません。

【このワクチンの接種スケジュールは？】

● 接種量および回数

0. 5 mLを1回、皮下に注射します。

【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- ・ 接種当日は激しい運動をさけ、接種部位を清潔に保ってください。
- ・ 接種直後と接種後10日の間は、健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・ 接種後に、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しいなど）がおこることがあります。アナフィラキシーは通常接種後30分以内におこることが多いので、この間接種施設で待機するか、すぐに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
- ・ このワクチンはゼラチン（安定剤）を含んでいます。ゼラチンを含む薬でショック、アナフィラキシーがあらわれたとの報告があります。これらの症状があらわれたらすぐに医師の診察を受けてください。
- ・ 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師、薬剤師または看護師に伝えてください。

副反応は？

特にご注意いただきたい重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。


重大な副反応	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
脳脊髄膜炎 のうせきずいまくえん	発熱、頭痛、手足が動きにくい、意識の低下

ギラン・バレー症候群 ギラン・バレーしょうこうぐん	両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、階段を昇れない、物がつかみづらい、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉がまひする、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しい
急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) きゅうせいさんざいせいのうせきずい いえん (アデム)	頭痛、発熱、嘔吐 (おうと)、意識の低下、目が見えない、手足が動きにくい、歩きにくい、感覚が鈍い
けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
球麻痺 きゅうまひ	物が飲み込みにくい、言葉がはっきりしない、息苦しい
熱性多臓器不全 ねっせいたぞうきふぜん	発熱、息苦しい、体がだるい、尿量が減る、食欲不振

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、感覚が鈍い、顔や手足の筋肉がぴくつく、体がだるい
頭部	めまい、意識の消失、頭痛、意識の低下、一時的にボーっとする
顔面	顔面蒼白、顔の筋肉がまひする
眼	物がつかみづらい、目が見えない
口や喉	喉のかゆみ、食べ物が飲み込みにくい、嘔吐、物が飲み込みにくい、言葉がはっきりしない
胸部	動悸、息苦しい、呼吸が苦しい
腹部	食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、手足が動きにくい、両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、手足の感覚が鈍くなる、歩きにくい、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	階段を昇れない
尿	尿量が減る

【このワクチンの形は？】

容器の形状	性状
	わずかにピンク色の凍結乾燥製剤である。本剤を添付溶解液で溶解したとき、わずかに褐色を帯びたピンク色を呈する混濁した液剤となる。

写真はほぼ原寸大です。

【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	黄熱ウイルス（17D-204株）
添加剤	D-ソルビトール、ゼラチン、リン酸水素二ナトリウム、リン酸二水素ナトリウム一水和物

【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師や薬剤師、看護師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元： サノフィ株式会社 (<http://e-mr.sanofi.co.jp/>)

サノフィパスツールコールセンター

フリーダイヤル 0120-870-891

受付時間 9時～17時（土日祝日・弊社休業日を除く）

【参考】 このワクチンの接種を受ける前に生ワクチン（注射剤）を受けている場合

- 生ワクチン（注射剤）を受けている場合は、27日以上間隔を空けてこのワクチンを接種します。

生ワクチンとは	ワクチン（注射剤）の例
病原体となるウイルスあるいは細菌の毒性を弱めて病原性をなくしたものを原材料として作られたワクチンです。	BCG、麻しん風しん混合（MR）、麻しん、風しん、水痘（みずぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、黄熱